

シオミズツボウムシは女の子だけ？

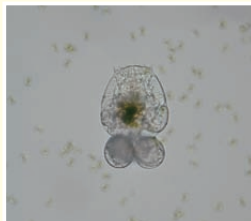
魚の種苗生産には稚魚の餌になる動物プランクトンが欠かせません。海生研では、動物プランクトンの一種、シオミズツボウムシを稚魚の餌に使用しています。

ウムシは、餌料や温度などの生息条件が好適なときには、メスは交尾することなく、次々と産卵してメスばかりが生まれ育ってゆきます。

オスは生息条件が厳しくなったときなどに出てきて、メスとの間に耐久性に優れた卵がつくられ、種の保存が図られますが、この場合は増殖が抑えられるため、培養水の交換を頻繁に行い、オスが出現しないようにしています。

また、ウムシには大きさのちがう個体が存在します。飼育チームでは、大型(L型ウムシ)と小型(S型ウムシ)のウムシをそれぞれ培養しています。シロギスなど小型卵を産む魚種のふ化後最初の餌は、摂餌可能な小型のS型ウムシを与え、成長とともに大型のL型ウムシに切り替えてゆきます。

(実証試験場 飼育チーム)



左：タイ国産S型ウムシ
(体長約0.18mm)



右：L型ウムシ
(体長約0.30mm)

財団法人海洋生物環境研究所は、発電所の取放水等が海の環境やそこに生息する生物に与える影響を科学的に解明する中立的な調査研究機関として、農林水産省、経済産業省、環境省の共管のもと、昭和50年に設立されました。

これまで大規模発電所の取放水が生物に及ぼす影響の解明を中心に、食の安全・安心や海生生物の保護に係わる海洋環境中の微量化学物質や放射能の実態把握等の調査研究を国や民間からの委託をうけて実施しております。

海の豆知識 第38号

平成21年1月 発行

発行所

財団法人 海洋生物環境研究所

事務局 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29 帝国書院ビル5階 ☎ (03) 5210-5961
中央研究所 〒299-5105 千葉県夷隅郡御宿町岩和田300 ☎ (0470) 68-5111
実証試験場 〒945-0017 新潟県柏崎市荒浜4-7-17 ☎ (0257) 24-8300

海の豆知識に関するお問い合わせは、事務局までお願いします。

<ホームページ> <http://www.kaiseiken.or.jp/>

かいせいけん

海の豆知識

Vol.38

★★★ 魚のことわざ ★★★



財団法人 海洋生物環境研究所

魚のことわざ

(その36)

——ブリ——

海とその生物にまつわる^{ことわざ}諺や格言についてお話ししましょう。

今回は、平成16年1月発行の海の豆知識18号(<http://www.kaiseiken.or.jp/uminame/uminame18.html>参照)に続き、ブリ(スズキ目アジ科ブリ属、和名: 鰺、英名: Japanese amberjack、Five-ray yellowtail、学名: *Seriola quinqueradiata*)をご紹介します。

ブリはイワシ・アジ等の小魚やイカ類などを食べる温帯域の回遊魚で、日本からハワイ沿岸までの太平洋北西部および日本海の水深100mまでに生息し、成魚は最大で体長1.5m、15kgにもなり、背骨に平行する黄色い線が特徴の魚です。日本付近では、春から夏にかけて北上する幼魚が、初冬から春になると南下し、成魚となって釣れることから、師走^{しゅうさ}を旬として師走の「師」をとって鰺の字が生まれたと言われてい

ます。ブリはスズキ、ボラ等とともに、代表的な出世魚^{しゅっせうお}であり、稚魚から成長により、その呼び名が変わることが多く、その呼び名は地域によって異なりますが、関東ではワカシ→イナダ→ワラサ→ブリ、関西ではツバス→ハマチ→メジロ→ブリと、呼ばれることが一般的です。

また、ブリは出世魚であることから、鯛とならぶ祝魚であり、縁起の良い魚として、めでたい席や門出を祝う席でよく扱われています。

1

「寒鰺寒鰺寒鰺」

和歌山地方の諺。それぞれ寒が旬で最も美味なとき。フナ、コイ、マグロ、スズキも寒に旨く、また「寒鰺寒鰺寒鰺」の言葉もある。「寒」というのは、暦とはズレがあり、春の彼岸まで漁獲されるものに「寒」が付けられて罷り通るのが、魚の世界。



2

「寒鰺一本米一俵」

いわゆる「一斗鰺」のこと。「一斗鰺」とは、漁獲地の北陸・能登で、米一斗とブリー尾の値段がほぼ同値からの由来。それが山奥の飛騨にまで運ばれて来ると、米一俵とブリー尾(約12kg級)が同じ値段になる。ブリは高いというのが通り相場。

3

「いんぶり釣った鰺釣った」

中部地方で「腹を立てる」「不機嫌になる」ことを「いんぶりつる」という。また、「いんぶりそんぶり」といえば、不機嫌・無愛想なさま。このブリ(さま)を魚のブリに掛けて、人が怒ったときに、「怒った、怒った」とはやし立てる言葉、中部・佐渡地方の言葉。

単に「鰺を釣る」といえば、怒ってふくれっ面をする、すねること、広島県高田郡の方言。